

争議組合支援決議（案）

私たちは、いま愛知のたたかう労働者の心意気を結集して愛知県労働組合総連合（愛労連）を結成しました。

いま、わが国は国際的にも経済大国日本といわれています。そして大企業がその中心です。史上最高の利益をあげ続ける背景には、関連・下請け企業への系列支配を強めながら傘下におさめ、経営指導から労務管理にいたるまで労資一体となった支配体制を基盤にしていることです。そして有り余る資金を梃に海外進出し、企業買収や不動産買い占めなど世界各国からひんしゅくをかっています。

また政府・財界は、21世紀戦略のために、軍備拡大、臨調・「行革」推進、政治・司法の反動化、野党分断、労働運動の右翼再編に手を貸し、労働戦線の分断政策を強行しています。

そして労資一体の「連合」は、政府や独占資本の政策を追認し、労働運動を労資協調路線に取り込もうとしており、労働組合への組織分裂攻撃を強めています。

いま、職場では産業・業種、規模の大小を問わず、人減らし「合理化」がかけられ、大企業での大量の人員整理・指名解雇は、労働者の同意もなしに行なわれ、出向・配転は日常茶飯事、家族・子供との別居生活を強いる長期の単身赴任・夫婦別居配転も増加しており、まさに人権を守るたたかいです。

さらに国鉄の分割・民営化に見られるように、労働組合つぶしのために仕事をとりあげ、新会社への採用は組合脱退を前提条件とし、企業から選別排除するなど不当労働行為を公然と行なっています。こうした国家的不当労働行為を口実にして、民間企業におけ偽装閉鎖・組み合いつぶしの攻撃も拡がっています。

また労働者の団結権を否認する攻撃も、組み合いつぶしの役員・活動家を地方・遠隔地に配転する。労働者の固有の権利である労働組合の選択権の自由を否定して企業から排除する。労働者の身分・地位や労働条件を決定する団体交渉すら応じないなど、裁判の判決も守らない、話し合いもしない経営者とのたたかい。

労働者への差別扱いも賃金・昇格、仕事、組合間差別にとどまらず、思想・信条の自由の否認は職場のみならず、地域社会での日常生活にまでおよぶ企業の支配管理によって、労働者の基本的人権おも奪っています。こうした差別是正・撤廃のたたかい。

「連合」による資本や当局の権力を利用した組織分裂攻撃は、日増しに激しさを加えています。さらに労働者の団結権を保障するための救済機関として、役割を持つ地方労働委員会や中央労働委員会の変質、労働者委員の独占を意図するなど、労働組合としての資質をも疑わせる今日の「連合」の実態は本質が明白です。

いま、広い分野で、多くの職場で労働者は人間らしく働き、憲法で保障された団結権、勤労の権利、基本的人権と人格が保障されることをめざしてたたかっています。労働者の魂を守り、命をかけて、仲間を信頼してたたかいにたちあがっています。

職場で働く多くの労働者が自分たちの労働組合は資本の言いなりにならない、労働者の味方として守ってくれる組合と信じています。

私たちは、「連合」の中心組合に多く見られるような資本追随、企業の労務管理の先兵となるような労働組合とならず、資本や権力・当局と毅然と対応します。

そして真に労働者の要求実現のためにたたかっている仲間の争議を支援し、闘争勝利のため、愛知の争議をなくすために愛労連の組織をあげ全力でたたかいます。

以上決議します。

1989年11月17日

愛知県労働組合総連合結成大会